

TOYAMA KAZUYUKI MEMORIAL ARCHIVES
OF
MODERN JAPANESE MUSIC
LECTURE CONCERT SERIES

日本近代音楽館レクチャーコンサートシリーズ

XIII

あのととき、
ハーモニカがあつた

【レクチャー】 ■岡本吉生

ハーモニカ誕生から200年、
日本のハーモニカその時々

【詩の朗読とお話】

■助川哲也（朗読） ■岡本吉生（ハーモニカ）

近藤宏一の詩「ほくらの風」

—ハンセン病療養所のハーモニカ演奏活動

● 梁田貞 作曲、佐藤秀廊 編曲
「城ヶ島の雨」による幻想曲

● 西澤健一 作曲
鳶の門

■ 水野隆元（複音ハーモニカ）

● 池辺晋一郎 作曲
ハーモニカは笑い、そして沸騰する

■ 和谷泰扶（クロマティックハーモニカ）

● ビゼー 作曲、山形智美 編曲
カルメン第一幕への前奏曲 闘牛士

● ミーチャム 作曲、山形智美 編曲
アメリカン・パトロール

■ 八連符+

● 古関裕而 作曲、山形智美 編曲
栄冠は君に輝く

● 山田耕筰 作曲、竹内直子 編曲
山田耕筰メドレー

● スメタナ 作曲、竹内直子 編曲、山形智美 補作
「モルダウ」より

■ 愛川ハーモニカアンサンブル、岡本吉生（指揮）

ほか

助川哲也

—— お話・朗読（日本近代音楽館館長）

愛川ハーモニカアンサンブル

—— 大アンサンブル

八連符+

—— 小アンサンブル

和谷泰扶

—— クロマティックハーモニカ独奏

水野隆元

—— 複音ハーモニカ独奏

岡本吉生

—— レクチャー・演奏・指揮

2024年

12/7 (土) 14:00開演 [開場13:30]

明治学院大学白金キャンパス アートホール

入場無料
要予約



■ 予約受付：東京コンサーツ

Tel : 03-3200-9755 (平日10:00~18:00) Fax : 03-3200-9882

<https://lectureconcertseries2024.peatix.com>

主催：明治学院大学図書館付属遠山一行記念日本近代音楽館
制作協力：東京コンサーツ



ハーモニカ誕生から200年、 日本のハーモニカその時々

ハーモニカはおよそ200年前、ウィーンで誕生しました。日本に御目見えしたのは、およそ60年後の明治19年前後のこと。百貨店の前身ともいえる勧工場の舶来品などを扱う店がはじまりでした。少し遅れて銀座の十字屋もドイツから輸入したものを「西洋横笛」というネーミングで店頭に並べます。

大正時代には社会の自由な空気を呼吸し、ラジオやレコードの出現も追い風となって、ハーモニカは音楽に目覚めた人々の楽器としても手にされ、他の楽器を凌ぐ爆発的な人気を誇りました。独奏はもちろん、全国の大学や職場などで300ものハーモニカ合奏団が生まれます。

その後、大衆楽器の雄として昭和の時代へ、ハーモニカとハーモニカ音楽はますますの広がりを見せることになります。小学校の音楽の現場でハーモニカを中心とするリード合奏が盛んになったのもこの頃でした。

今回はそうしたハーモニカの歴史と、歴史を織りなす様々なエピソードを演奏や朗読を交えてご紹介し、日本近代音楽の傍流史としてのハーモニカの姿、果たした役割などを明らかにしてみたいと思います。

岡本吉生

2024年

12/7 (土) 14:00開演 [開場13:30]

明治学院大学白金キャンパス アートホール



明治学院大学 〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

- 品川駅 [JR/京浜急行] 高輪口より都営バス「目黒駅前」行「明治学院前」下車または 駅より徒歩約17分
- 目黒駅 [JR/東急目黒線/東京メトロ南北線/都営地下鉄三田線] 東口より都営バス「大井競馬場前」行「明治学院前」下車 または 駅より徒歩約20分
- 高輪ゲートウェイ駅 [JR]より徒歩約13分
- 白金台駅 [東京メトロ南北線/都営地下鉄三田線] 2番出口より徒歩約7分
- 白金高輪駅 [東京メトロ南北線/都営地下鉄三田線] 1番出口より徒歩約7分
- 高輪台駅 [都営地下鉄浅草線] A2番出口より徒歩約7分



岡本吉生

Yoshio OKAMOTO

1952年神奈川県生まれ。日本唯一のハーモニカ専門店「コアアートスクエア」の代表。複音ハーモニカ、アンサンブルを中心とするハーモニカ教室を主宰指導。1996年にはハーモニカカルテット「The Who-hoo」結成、コードハーモニカを担当。全国各地に招かれ演奏活動を続けてきた。現在、日本ハーモニカ芸術協会の会報誌『口琴藝術』編集に携わるなど、ハーモニカおよびハーモニカ音楽の普及に努める。著書に『あつぎハーモニカ物語』。



水野隆元 (複音ハーモニカ)

Takamoto MIZUNO

岩崎重昭氏、甲賀一宏氏に師事。

1991年「F.I.H. JAPAN ハーモニカコンテスト」、1996年 第1回「アジア=太平洋ハーモニカ大会」台北(台湾)、1997年「F.I.H. 世界ハーモニカフェスティバル」トロッシゲン(ドイツ)で複音ソロ部門第一位受賞。1998年慶應義塾大学塾長賞受賞。1999年よりドイツ学術交流会の給費奨学生としてドイツで音楽学専攻。現在、作曲家と共に複音ハーモニカのオリジナル曲を残すことを目的に活動中。



和谷泰扶 (クロマティックハーモニカ)

Yasuo WATANI

同志社大学卒業。トロッシゲン市立音楽院卒業。1988年・89年国際コンクールにて第1位。2002年までドイツ・ホーナー・コンセルヴァトリウム主任講師。「村松賞」京都府文化賞奨励賞受賞。国内外の数多くのオーケストラと共演。洗足学園音楽大学講師。2019年池辺晋一郎作曲「ハーモニカは笑い、そして沸騰する」、2023年「ちろ そろ ちろそろ」を世界初演。従来のハーモニカ概念を塗り替える超絶技巧と音楽性は世界的な注目を集めている。

©Akira MUTO

八連符+

2001年に結成。2009年、国内ハーモニカコンテストでの1位入賞を皮切りに複数回上位入賞。2022年には「アジア=太平洋ハーモニカ大会」室内楽部門第2位。2023年「全日本演懐コンクール」第1位。同年「西日本ハーモニカコンテスト」アンサンブル部門第1位と特別賞のW受賞を果たす。幅広い年齢層に向けたレパートリーで、東京・神奈川をはじめ富山、島根、愛知、三重など全国各地に招かれて演奏活動を続けている。

愛川ハーモニカアンサンブル

Aikawa Harmonica Ensemble

1995年1月に結成、まもなく30周年を迎える。国内外ハーモニカコンテストで10回を超える上位入賞。2022年、中国開催「アジア=太平洋ハーモニカ大会」大編成アンサンブル部門第2位。2019年には、古閑裕而の生涯を描くNHK朝ドラ「エール」の「福島ハーモニカ倶楽部」の演奏シーン用楽曲として「カルメン」「皇帝円舞曲」などをNHKスタジオで収録、翌2020年4月より放映。本年11月には「30周年記念コンサート」を開催。